

1 , 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の農業経営再建と不良債権解消を目的とし、農業制度資金 (農業経営負担軽減支援資金) 一括借換に着目しました。 ・農家が破綻した場合を想定したときに、保証の関係で他の健全農家まで連鎖し、ひいては地域農業の疲弊、耕作放棄等の問題に発展するため、地元行政・JA 等を含めた関係機関で構成する指導班を編成し、個人再生スキームで対応しました。
2 , 概 要	<p>当該農家を農業技術、経営理念、営農への熱意、負債の原因、後継者等の有無を個別に検証するとともに、再生可能か診断します。</p> <p>当該農家自ら営農計画、返済計画、家計費等、経営改善計画 (素案) を立案するとともに、負債増加に対しての原因追求と反省、今後の課題と取組みを認識します。</p> <p>JA を含む行政等関係機関で構成する指導班により、当該農家へのヒアリング、経営改善計画 (素案) へのディスカッションを実施するとともに、今日までの経営分析と技術レベルの把握し、キャッシュフロー等経営計画及び適正な経営規模の診断など経営改善計画の妥当性を検証します。</p> <p>当該農家を含めた指導班会議で立案された経営改善計画について、各専門分野の担当者 (営農指導部門・生産資材等経済部門・財務金融部門・生活指導部門) を交え、さらに実行可能かについて実査・検討・確認を行います。</p> <p>本件についての一連の経営診断、経営改善を含む再生計画の立案が審査会です承された後、債権者である JA が利息、損害金の減免を含めた条件緩和について検討し、当該農家の財政的支援策を策定します。</p>
3 , 成果 (効果)	<p>農業経営負担軽減支援資金への長期かつ低利の営農負債借換及び経営改善計画に基づく営農指導及び各種数値的管理により、経営体質の抜本的改善が図られました。</p> <p>度重なる調査・診断・分析により、当該農家の農業経営に対する意欲の向上とスキルアップ、指導班・金融機関 (JA) に対する信頼感が向上しました。</p>
4 , 今後の予定 (課題)	<p>農業経営負担軽減支援資金貸付農家に対して、定期的な指導班による効果の確認・巡回指導・相談等引き続き農家をフォローし、場合によっては経営改善計画の見直しなどを含め市場ニーズ等に対する確に対応いたします。</p>

